

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.111

H29.12. 1 「旭川・留萌南部三連盟理事総会」

第2回三連盟総会がトーヨーホテルであり出席してきました。三連盟とは、「高文連（文化系の部活動）」「高野連（野球）」「高体連（体育系の部活動）」の総称で、今年度の各部活動に関する事業や中間決算などが事務局から報告されました。

本支部からも、数多くの団体・個人が全道大会や全国大会で活躍しています。地区全体の盛り上がりは、各校の大きな刺激にもなります。

研修会では、2011年の世界柔道選手権金メダリスト、佐藤 愛子氏を講師にお招きし、主に「指導者（教育者）や体育・スポーツの役割」についてご講話をいただきました。柔道の頂点に立たれるまでの様々な経験を通して身につけられた考察は、大変説得力があり、私ども教育者にとって学ぶべきことの多いお話でした。

この後も全道大会を残している部活動がまだあります。引き続き、当地区の奮闘を応援していきましょう！

All for one, and one for all. No.112

*エイリョウ・アラカルト 「校外展を開催」

毎年恒例の「写真部・書道部・美術部」合同の校外展を、ピカソ画廊さんのご協力により、今月2日から開催しています。様々なジャンルの大作がズラリと並び、見る者の心を和ませてくれます。何より、高文連の大会で好成績を収めた本校生徒だけあって、どの作品もかなりのレベルに驚きます。



また部活動とは別に、3年生芸術科目選択の生徒同士が、過日「合同芸術鑑賞会」を実施しました。音楽・美術・書道の授業を選択している生徒間で、互いの成果を発表・鑑賞し合い、感性を磨き、より高次の情操を育むことがねらいです。

芸術は、人間の「感情」をより豊かにします。経験することも鑑賞することも、人間形成の上でとても大切な行為です。それだけに、今後多くの生徒にこうした機会を持たせられるようにしていきたいと考えています。



All for one, and one for all. No.113

H29.12. 8 「授業研究」

「これからの時代を生きる生徒に必要な力とは?」「それらの力を育むための授業のあり方とは?」、そうした課題解決に向けた教科指導のある方を考えるため、今年度から「アクティブ・ラーニング推進委員会」を起ち上げ、全校を挙げた授業改善に取り組んでいます。定期的に公開授業や授業研究を行う中で、生徒が主体的に考え、協働しながら課題を解決し、相手にわかりやすい表現を身につけていく指導手法等を学び合います。

今日は、本校独自の公開授業強化週間に道教委の研究指定事業が重なり、教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法改善のための実践について研修会を行いました。



不透明とも言える未来社会をたくましく生き抜くために身につけるべきものは、「学ぶ意味と自分の人生や社会の在り方を主体的に結びつけ」、「多様な人との対話や先人の考えをさらに広げ」、「知識や考えを方を活用し、自ら問題を発見し解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想・創造する」ことのできる「学び」であります。

教育も、時代の変遷とともに変化していくものです。だからこそ、私たち教職員も学び続ける必要があるのだと考えます。

All for one, and one for all. No.114

H29. 12. 9～10 「街頭募金活動」

生徒会と有志による募金活動が、ウエスタン永山店のご協力をいただきながら、2日間に渡り実施されました。この活動は生徒総会で生徒の総意をよって決定された取組です。子どもたちが、「まずは自分たちにできることを」という思いから始まりました。

1日目の土曜日は「東日本大震災救援募金」、2日目の日曜日は「歳末助け合い運動」と各グループに分かれて募金活動を行いました。両日とも天候に恵まれ、多くの皆様にご協力をいただき、参加生徒共々本当に有意義な時間を持たせていただきました。心より感謝申し上げます。

集まりました支援金は、近日中に生徒会と担当者が責任を持って各関係団体のもとに届けさせていただきます。



All for one, and one for all. No.115

***エイリョウ・アラカルト 「北海道学生書道展に入賞!」**

過日、応募総数7,726点と全道の小中高生が参加する最大の催し「北海道学生書道展」の入賞者が発表されました。

本校からも「高校創作の部」で1年次生の奥山 陽向君と今井ももかさんの2名が見事「推薦」を受賞。この「推薦」は、「特別賞」の28点に続く賞で、全応募作品の中から



わずかに62点しか選ばれない大きな賞です。1年次での受賞とあって、この後の活躍が一段と楽しみになってきます。

本校の書道部は、今注目を浴びているパフォーマンスにも定評があり、部員も皆楽そうに個性や才能を発揮しています。今後も新しいことにどんどん挑戦し、多くの人を魅了してくれることでしょう。



All for one, and one for all. No.116

H29.12.12 「旭川養護学校の皆さんと交流会」

同世代の生徒同士が相互理解を図りながら豊かな人間関係を築いてきたこの交流会も、今回で早3回目を数えます。この交流会は、これまで旭川東栄高校の皆さんが長きにわたり実施されてきましたが、再編統合により、今年度から本校がその交流会に参加させていただくことになりました。

今回のテーマは「音楽」を通しての交流会です。本校吹奏楽によるクリスマスメドレーやディズニーソングに合わせて、旭川養護学校の皆さんもタンバリンなどを使ったり、体でリズムを感じたりしながら一緒に「音楽」を楽しみました。限られた時間ではありましたが、両校の生徒が心をつにし、微笑み合いながら「音楽」の美しさを共有する姿がとても素敵でした。



All for one, and one for all. No.117

*エイリョウ・アラカルト 「部活動も頑張っています！」



毎年強豪がひしめく中、熱戦を繰り広げる「地区新人バドミントン選手権大会」で、「女子団体」が念願の全道出場を決めました。

また、上川学校剣道連盟が主催する「高等学校新人剣道大会」では、男子が「団体優勝」を果たしました。道内からの招待チームを押さえての勝利だけに喜びも一入です。

さらに文化部では、吹奏楽局が「ブラバン・ディズニー！コンテスト」で「パフォーマンス賞」をいただくなど、これまた嬉しいニュースとなりました。

All for one, and one for all. No.118

H29.12.12 「高大教科連携事業」

今年度から旭川医科大学のご協力を得て実施している「高大教科連携事業」の最後の授業を本校で行いました。「生物」に関する基礎的な知識をもとに、ワークショップの実施、旭川医科大学に赴き電子顕微鏡や共焦点レーザー顕微鏡を使った本格的な実験等を行う中で、生徒は「生命」についての深い学びを経験しました。

今日は、これまで学んだ学習内容のまとめや感想を、代表者が「プレゼン」し、再度「生命のかたち」について確認しました。



高校の学習環境とは違う大学の施設・設備に驚いたことと思いますし、この貴重な体験は生徒たちの学習理解を深め、これからの学習意欲に大きく繋がったことでしょう。

旭川医科大学の平先生には、大変お忙しい中、授業や実験準備をはじめ懇切丁寧なご指導をいただきましたことに、この場をお借りし心より感謝申し上げます。



All for one, and one for all. No.119

H29.12.14 「高P連旭川支部研修会」

この度の支部研修会では、「オカリナ」の素朴で美しいひびきを体験していただきました。社会の急激な変化の中、教育界にも改革の波が押し寄せています。そんな中、いつの時代にあっても変わることなく私たちの心を和ませてくれるのが音楽です。PTA関係各位の日頃の疲れを少しでも癒やしていただきたく開催しました。

講師に、日本を代表するオカリナ奏者 椎名 春菜 氏とピアノ奏者 松岡 亜弥子 氏をお招きし、オカリナとピアノによる名曲の数々を演奏していただきました。「愛の喜び」「クリスマスメドレー」「コンドルは飛んでいく」「サウンド・オブ・ミュージック」等、お馴染みのナンバーに会場の誰しもが酔いしれました。



引き続き行われた講話では、東日本大震災での辛い体験をもとに「音楽」と真剣に向き合う思いを強くしたこと、オカリナ教室での様々な「出会い」から多くを学んだことなどをお話いただき、とても感銘を受けました。

心に染み渡る「オカリナのひびき」は、私たちを「生の根源」へと引き戻し、忘れてはならない「大切なもの」を改めて確認させられるような不思議な力を持っていました。

All for one, and one for all. No.120

*エイリョウ・アラカルト 「バスケット新人大会地区予選会で優勝！」

12月16・17日の両日行われた「北海道高等学校バスケットボール新人大会旭川地区予選会」で、男子バスケット部が見事「優勝」を勝ち取りました。次年度のインターハイを見据えたチームがいよいよ本格的に始動です。



1月末には帯広で全道の新人大会がありますが、旭川地区の代表として、他の高校の分まで精一杯力を発揮してきて欲しいものです。

また今大会の最優秀選手に 2年 長田 陸 君が選ばれ、優勝に華を添えてくれました。

All for one, and one for all. No.121

H29.12.19 「募金を関係団体へ」

過日実施した生徒主体による募金活動での皆様のご厚情を、本日、責任をもって各関係

団体にお渡ししました。

「東日本大震災救援募金」は旭川市福祉保健部社会保険課に、また「歳末助け合い運動」の募金は旭川市社会福祉協議会共同募金委員会の方に、本校生徒会長が代表してお預けさせていただきました。

2日間に渡る募金活動では、多くの市民の皆様にご賛同をいただき厚く感謝申し上げます。生徒たちにとっても大変貴重な経験になりました。



All for one, and one for all. No.122

H29. 12. 20 「開運餅つき」

生徒会が主催する「開運餅つき」は、在校生皆が新たな年に向かってさらに運を開いていこうという願いを込めて毎年行っている行事です。



放課後の生徒ホールには、各クラスを代表する「餅つき者」の声が響き渡ります。餅つきが終わったところで、今度はライフ・クリエイティブ・クラブ(LCC)の皆さんの出番です。つきたての餅を使って、砂糖醤油、きな粉、お汁粉、お雑煮を手際よく調理していきます。そして生徒会執行部の皆さんが、生徒一人一人に「開運を願」をかけながら手渡していきます。

この本格的な伝統的文化行事には、「大きなご利益」が必ずあることでしょう！

All for one, and one for all. No.123

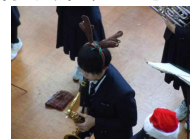
H29. 12. 22 「Christmas Concert」

午後からの冬季休業前「全校集会」に先立ち、吹奏楽局が「Christmas Concert」を生徒ホールで開催してくれました。サンタに扮した局員が「X'massimo」「クリスマス・イブ」などお馴染みのナンバーを、振り付けを交えて演奏してくれました。お蔭で寒さも吹き飛ばすほど校内全体が明るく元気になりました。



3年生は、年明けからいよいよ受験が始まります。また1・2年次生は、冬期講習のスタートです。やや重たい雰囲気を一気に和らげ、生徒たちに「やる気」を注入してくれました。「サンタ（吹奏楽局）の皆さん、クリスマス・プレゼント有り難うございました！」

そう言えば、トナカイの姿が見えません・・・と思いきや、「おやおや、こんな所にちゃんと隠れていました（笑）」



All for one, and one for all. No.124

H29. 12. 22 「弓道、全国杜行会」

「北海道高等学校弓道選抜大会北北海道大会」女子個人の部で見事優勝の栄冠を手にした 2 年 熊谷 梨沙 さんの「全国壮行会」を行いました。熊谷さんは 2 4 日から滋賀県大津市で開催される全国大会に北海道代表として出場します。



弓道は儀礼を重んじ、心身の鍛練を主とする競技です。単に技術だけでなく、日頃の精神修養も結果に大きく影響するものです。熊谷さんの日頃からの努力があったからこそその快挙だと思います。

全道大会の緊張感と重圧の中にあっても「卓越した集中力」を発揮できたのですから、全国でも大いに活躍してくれることでしょう。皆で応援してますよ！